

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 取手市立取手西小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	第3学年 40名 第4学年 49名 第5学年 55名 第6学年 47名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育、総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○オリンピックやパラリンピックについて調べたり、実際に競技を体験したりすることによってスポーツのもつ魅力に触れ、スポーツと豊かに関わる。 ○日本代表監督から直接指導を受けたり、話を聞いたりすることで、夢をもつこと、あきらめないで努力することの大切さを実感する。
5 取組内容	<p>○東京パラリンピックのボッチャ日本代表監督を招聘しての講演会と体験会を実施した。(4年 体育)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○幅広い年代の方が楽しめるゲートボールを簡易化した教材であるイージーゲートボールを実践した。また、最後は実際にスティックを使ってのゲートボールを体験した。(3・4・5・6年 体育)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

	<p>○オンライン学習期間に、I'm POSSIBLE を使ってパラリンピックの意義や魅力について学習した。(3・5年 体育)</p> <p>○お年寄りや障害をもつ人々が過ごしやすい世界をつくるためにはどうすればよいか調べ、プレゼンテーションソフトにまとめ、発表をした。(4年 総合的な学習の時間)</p>
6 主な成果	<p>○実際にパラリンピック種目を体験することで、パラリンピック種目そのものに健常者と障害をもっている人の垣根を外す可能性があることを実感できた。</p> <p>○ボッチャの講演会を実施する前と実施した後で、パラリンピック種目に対する興味・関心が変わったことがアンケート調査から分かった。 質問項目「パラリンピック種目を体験したいと思いますか。」 実施前 体験したい 55% 体験したくない 45% 実施後 体験したい 79% 体験したくない 21%</p> <p>○一人で乗り越える事が難しい障壁も、手を取り支え合うことで乗り越えることができることを学んだ。</p> <p>○スポーツが苦手と思っている児童にとっても活躍できる場面があり、活動を楽しむことができた。</p>
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<p>○パラリンピック種目に興味・関心をもたせるために、東京パラリンピックのボッチャ日本代表監督を招聘して講演会を行った。</p> <p>○パラリンピック種目を視覚的にとらえるために、I'm POSSIBLE の資料映像を活用した。</p> <p>○児童自身が調べたい内容を調べたり、プレゼンテーションをしたりするために、一人一台のタブレットを活用した。</p>
8 主な課題等	<p>○感染症予防のため、多くの人数を集めてのオリンピック・パラリンピックに関する集会を実施することができなかった。</p> <p>○オリンピック・パラリンピック選手に講演を依頼しようとする予算の関係上難しかった。また、競技を体験するにあたっての用具が高価なものが多く、予算の中では必要個数を購入するのが難しかった。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○全学年でボッチャの体験を行う。また、新型コロナウイルス感染状況をふまえながら学年間の交流等も行う。</p> <p>○スポーツを通してコミュニケーション能力の育成を図っていきたい。</p>